

議 事 録

公開・ 一部公開 ・非公開			非公開 部 分 理 由 個人情報にかかると部分		
保存期間			30 () ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随		
作成日			令和5年3月24日		
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 企画振興課企画政策係
				職・氏名	主査 上条 由実 印

会議等の名称	令和4年度 第2回東御市行政改革審議会	開催日時	令和5年3月23日（木） 午後 6時30分～ 午後 8時00分
		場 所	本館2階全員協議会室
主催者(事務局)	企画振興課	司会者	井上企画振興部長
出席者	坂口晋一、栗原陽子、小山岳史、塩崎和男、篠原博文、翠川昌博、小林経明、森俊也 井上企画振興部長、中村企画振興課長、井出総務課長、清水教育課長、山邊建設課長 岩下生活環境課長、大塚企画政策係長、中澤都市計画係長、西村主任、上条		
欠席者	齊藤敏彦、坂口永一		

議 題	(審議事項) ・ 東御市行政改革推進計画取組状況及び次年度取組方針について (説明事項) ・ 援助団体等への関与のあり方に関する評価について ・ 第5次行政改革大綱の策定について	(配布資料) 別紙会議資料のとおり
決定事項 <small>(要点を箇条書き)</small>	・ 東御市行政改革推進計画取組状況及び次年度取組方針について諮問したところ、答申をいただいた。	
次回への検討		
次回開催	(日時) 未定	(場所) 未定

様式第4号（第21条関係）

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
1 開会		
2 会長あいさつ	坂口会長	東御市行政改革推進計画取組状況及び取組方針について審議をするので、忌憚のない意見交換を。
3 市長あいさつ	田丸副市長	東御市行政改革推進計画取組状況及び取組方針について、口頭ではあるが、諮問し、本日答申をいただきたい。また、3月いっぱいをもって任期満了となります。長い間ご審議にご協力いただきありがとうございました。
4 審議事項 ・東御市行政改革推進計画取組状況及び次年度取組方針について	上条	資料1について説明。目標値が変更になる項目については担当課長から説明。
	井出課長	「No18第4次定員適正化計画の推進」について、新規職員の採用抑制にならないように定員を増やした。
	清水課長	「No23学校施設長寿命化の観点からの給食施設の在り方の検討」について、生徒・児童数の減少に伴い集約化を考えているが、自校給食に思い入れのある方もいるので、慎重に検討するため、来年度も目標を「事業実施計画策定」としたい。
	山邊課長	「No26東御中央公園の在り方についての検討」について、Park-PFIについて、民間企業へ導入調査をしたが、経費を節減できるような企業はなかった。社会実験として「マルシェ」の開催などもしてみたが、状況は変わらず、導入は難しいとの判断から、改革の目標を「－」としたい。
	大塚係長	公園は体育施設と一緒に指定管理をしている。今後は、その指定管理の中で経費節減を図っていく。
	委員	No2について、職員提案が27提案あったとのことだが、どのようなものだったのか。No7について、団体評価をするにあたり、市が期待する点というのはどのようなものか。No12について、図書館の蔵書の寄贈の今後の見通しはどうか。No29について、人事評価は難しいものだが、試行の理由は何か。
	中村課長	職員提案については、サマーレビューの中でこちらから出してもらうようお願いしている。自分の部署で改善できるものが1/3、ナンバーディスプレイ電話機の設置など総務課をお願いするものが1/3である。残りの1/3が、採用試験の見直しやローンの資格取得の補助、事務引継ぎの仕組みを考えるもの、マイナンバーカード普及による職員配置の見直しである。
	大塚係長	このあと説明するが、補助金や指定管理料を払っている団体に、施設等をどう使ってほしいのかなど、市と団体で目的等の目線合わせをしたいと考えている。図書館については、また確認をしておきたい。
	井出課長	公務員の職場は目標の数値化が難しい。評価を受ける側、する側の温度差がある。公平な評価をするための目線合わせの研修が必要と考えている。
	委員	No11受益者負担の見直しで、湯の丸高原テレワーク施設と和児童館とあるが、内容はどんなものか。No17地域づくり支援員と社会教育指導員を一緒に体制にしたということだが、やってみてどうか。
	中村課長	湯の丸高原テレワーク施設と和児童館については、新規施設であるので、使用料について検討をした。
	井上部長	地域づくり支援員と地区公民館長（社会教育指導員）の2人がいたが、問い合わせに答えられないなど縦割りになっていたため、1人体制にした。市民にとってはわかりやすい形になったが、1人の負担感が大きいので検討が必要である。
委員	人事評価に関して、最初に自己申告により目標を定め、最後にどの程度できたかということコミュニケーションを取りながら評価していくのがよいのではないか。	
井出課長	現在も最初に何をいつまでに実施するのかという目標を立て、評価している。	
委員	No23について、まだ新しい給食室もあると思うが、集約化は一斉にやるのか、また段階的か。	

様式第4号（第21条関係）

<p>5 説明事項 ・援助団体等への 関与のあり方に関 する評価について</p> <p>・第5次行政改革 大綱の策定につい て</p> <p>6 その他</p> <p>閉会</p>	清水課長	東部地区の給食室については、老朽化はしている。どのようにして集約していくのかは、人の配置なども含め検討中である。今後、合意形成を図っていきたい。
	委員	No18について、定員は毎年5人増えていくのか。令和6年度、令和7年度はどのように なっていくのか。
	井出課長	今後については、その年の定年退職者の1/2を平準化して増やしていく予定である。
	委員	定員は数字だけの問題ではない。定員をひろげてもっといい人材を取るべき。
	委員	ストレスチェックをすると職員の1割くらいに問題があると聞いた。早期退職者もいる と聞く。職員が能力を発揮できるような研修をお願いしたい。
	坂口会長	東御市行政改革推進計画に基づく令和4年度進捗状況、令和5年度の取組方針、行政改 革推進計画の変更について、委員の皆さまからの意見・要望等を付して、行政改革審議 会として答申することとしてよいでしょうか。
	委員	（異議なし）
	大塚係長	資料2について説明
	委員	この場でどんな評価をするのか決めていくのか。
	大塚係長	説明ということでご承知おきいただきたい。
	委員	試行の5団体のうち、振興公社だけ評価シートがない。
	大塚係長	振興公社については、施設数も従業員数も多いため、別途商工観光課で予算を取って経 営診断を実施している。
	委員	評価項目の効率性だが、効率性を追求しすぎると、サービスが下がったり、老朽化した 施設を修繕しないなどの問題も起こる。ちゃんとお金をかけるところはかけた上での評 価をしてほしい。
	委員	他の地方自治体についても調べてあるのか。評価が公表されたときに、間違いのない判 断をしてほしい。団体として評価してほしい項目は入れてほしい。
	中村課長	県内では、長野県、長野市、松本市が実施しているので参考にした。 今回の評価は、市も団体も初期の目的を忘れてしまうので、もう一度見直すことでもあ る。公表のときは、目的の違う団体なので、目線合わせはしていきたい。
	大塚係長	第5次行政改革大綱の策定を来年度実施する。これまでのご意見などを反映させていき たいと考えている。
	井上部長	委員の皆さまの任期が3月いっぱい満了となります。ご審議にご協力いただきありが とうございました。引き続きご協力いただける方につきましては、来年度もよろしくお 願いたします。
	閉会	